

屋良城跡公園整備工事実施設計報告書

<嘉手納飛行場等周辺まちづくり支援事業>

【概要版】

令和4年8月

嘉 手 納 町

屋良城跡公園の現状



屋良城跡公園の概要と特徴

- 屋良城跡公園は、比謝川の水辺の空間と一体となって機能する公園緑地として、40年前(昭和54年)に整備され、町民の安らぎと憩いの場、レクリエーションの場として広く利用されています。
- この地域は以前に屋良城跡という伝えもあり、歴史的にも地域を保全していく必要があります。

施設名	屋良城跡公園
公園の種類	地区公園
設置年月日	昭和54年3月31日
設置面積	46,648.80㎡
都市計画決定	当初決定 S50.10.02 4.50ha 供用開始 S60.03.31 4.50ha 名称変更 H16.03.24

屋良城跡公園の課題

公園施設	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的に施設の老朽化が進み破損している。 • 遊具は数が少なく老朽化が進み破損しているため、住民から遊具の充実が求められている。 • 樹木や墳墓の多さが公園利用者に「暗くて怖い」印象を与えている。
利用ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> • 比謝川一帯の周辺環境と調和した公園づくりが必要である。 • 公園内の歴史・文化財に触れられる公園づくりが必要である。
公園周辺	<ul style="list-style-type: none"> • 公園利用者の「怖い」といったイメージを改善するためにも、墳墓の移設が求められる。

基本理念と基本方針

基本理念

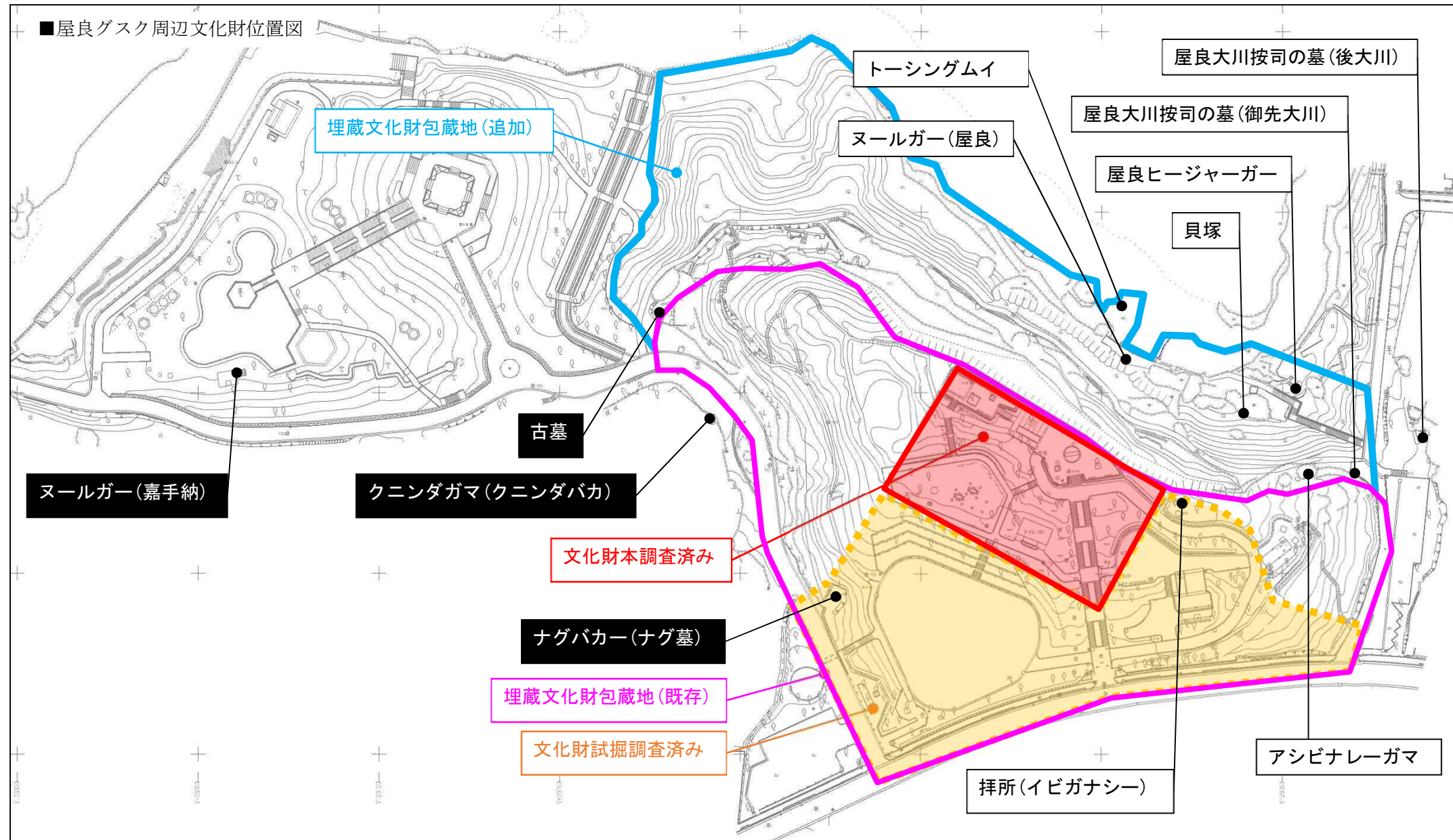
誰もが楽しめる、自然と歴史・文化の体験型公園づくり

基本方針

- 1. 冒険(アドベンチャー)を楽しむ公園づくり**
 - 子供達に遊びの場を提供し冒険や挑戦ができる施設の整備
 - 比謝川周辺の自然を活かした遊具や、地形を活かした大型複合遊具の整備
 - 比謝川を活用した自然体験
- 2. 自然、歴史・文化を感じる公園づくり**
 - 比謝川一帯の自然に生息する動植物の説明サインの整備
 - 屋良城跡の歴史・文化を感じる施設や説明サインの整備
- 3. 明るく安心・安全で誰もが遊びに来れる公園づくり**
 - ユニバーサルデザインに配慮し、エコエネルギー等を活用した公園施設の整備
 - 花や緑(低木の花木)で彩り、明るく潤いのある憩いの公園を演出
 - 日常的なパトロールや施設の安全点検に努め、公園利用者が過ごしやすい空間の形成
- 4. 交流を生み出す公園づくり**
 - 屋良城跡公園は嘉手納町の交流拠点の一つとして、町民及び在沖米軍関係者等の交流の場として、公園の活用及び機能の強化
 - イベントやお祭りの開催などソフト面の充実
 - 町内各地の観光拠点と連携し、新たな観光拠点として観光発展及びPR

1. 文化財資源に配慮した配置計画について

【屋良城跡公園内の文化財資源】



▲ナグバカー



▲クニンダガマ

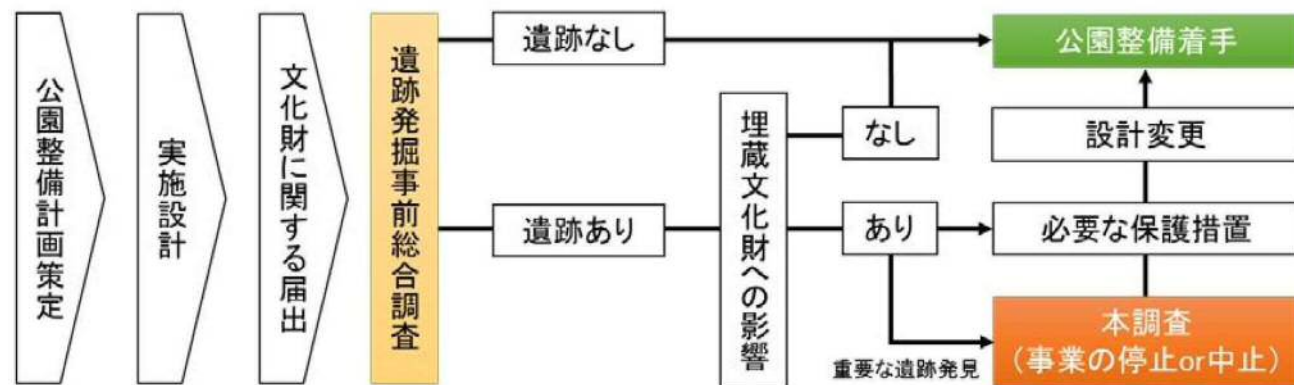


▲古墓



▲ヌールガー(嘉手納)

■想定される埋蔵文化財への対応



□屋良共栄会ヒアリング（令和3年6月2日）

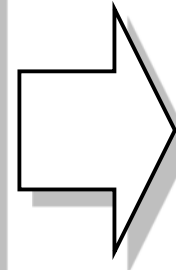
- ・「クニンダガマ(クニンダバカ)」は屋良区の拝所ではない。
- ・比謝川沿いに「屋良のヌールガー」もあり、そこは拝所になっている。
- ・また、その近くには、「トーシングムイ」や「アシビナレーガマ」などの文化財資源もある。それらは残してほしい。

□嘉手納共栄会ヒアリング（令和3年10月21日）

- ・「クニンダガマ(クニンダバカ)」は字で拝んでいる。現地保存してほしい。
- ・クニンダガマ(クニンダバカ)の前にある岩は、自然に落石した岩だと思われる撤去してもよい。また、周辺の崖沿いは明るくするため、崖沿いにある既存樹木は伐採してもよい。
- ・「ヌールガー(嘉手納)」は、湧水が枯れないよう配慮してほしい。拝みを行う際に、アプローチ園路がなく、歩きづらい。再整備の際は、歩きやすくなるよう配慮してほしい。

□教育委員会(町史文化財係)の取扱い方針(案)

- ナグバカー(ナグ墓)：現地保存
 - ・文化財調査審議会で範囲確認調査をした際に、中の調査を行うよう指摘されている。
 - ・古めの厨子甕も入っていたので調査結果次第では、指定に持っていきたい。
- クニンダガマ(クニンダバカ)：記録保存
 - ・字嘉手納で拝まれており、字嘉手納の住民から現地保存を望む声がある。
- 古墓：記録保存
 - ・写真、図面等の記録をとって開発可。古墓以外の小さい墓についても同様。
- ヌールガー(嘉手納ヌールガー)：字の承諾を得て嵩上げ可
 - ・湧水が枯れないよう配慮する。
- 比謝川沿いの地形：現地保存(屋良ヒージャーガー、屋良ヌールガー、トーシングムイ、アシビナレーガマなどの文化財資源含む)
 - ・文化財包蔵地。屋良グスクがあったときにグスクの機能として使われていたと考えられる場所が残っているため。



■文化財資源の方針

①ナグバカー(ナグ墓)は現地保存とする。

- ・ナグバカー(ナグ墓)を避けた園路ルートとする。

②クニンダガマ(クニンダバカ)は現地保存とする。

- ・計画園路の高さは、現況よりも高くなるため、クニンダガマ(クニンダバカ)が埋まらないように擁壁などを設け、クニンダガマ(クニンダバカ)前面に平場を確保する。
- ・クニンダガマ(クニンダバカ)の前にある岩は、埋土もしくは撤去とする。

③古墓は可能な限り現地保存とする。

- ・古墓を避けた園路ルートとする等、可能な限り残す。

④ヌールガー(嘉手納ヌールガー)は現地保存とし、嵩上げする場合は字に確認を図る。

- ・水質調査より有機フッ素化合物(PFOS, PFOA 等)が検出されている事から、安全性に配慮し、積極的に湧水に触れるような整備は行わず、眺める程度の整備とする。

⑤比謝川沿いの地形および、その他文化財資源は現地保存とする。

- ・拝所(イビガナシー)、屋良大川按司の墓(御先大川、後大川)、屋良ヒージャーガー、屋良ヌールガー、トーシングムイ、アシビナレーガマは現地保存とする。

⑥埋蔵文化財包蔵地の未調査範囲内の整備は、できる限り小さくなるよう配慮する。

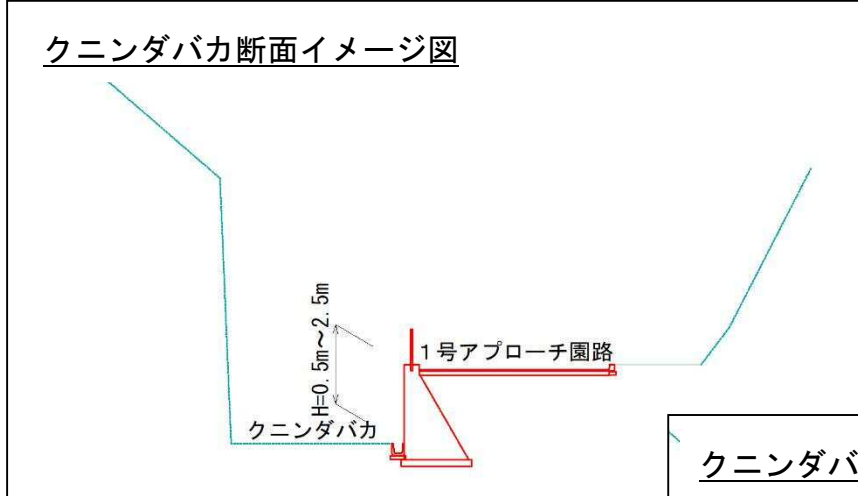
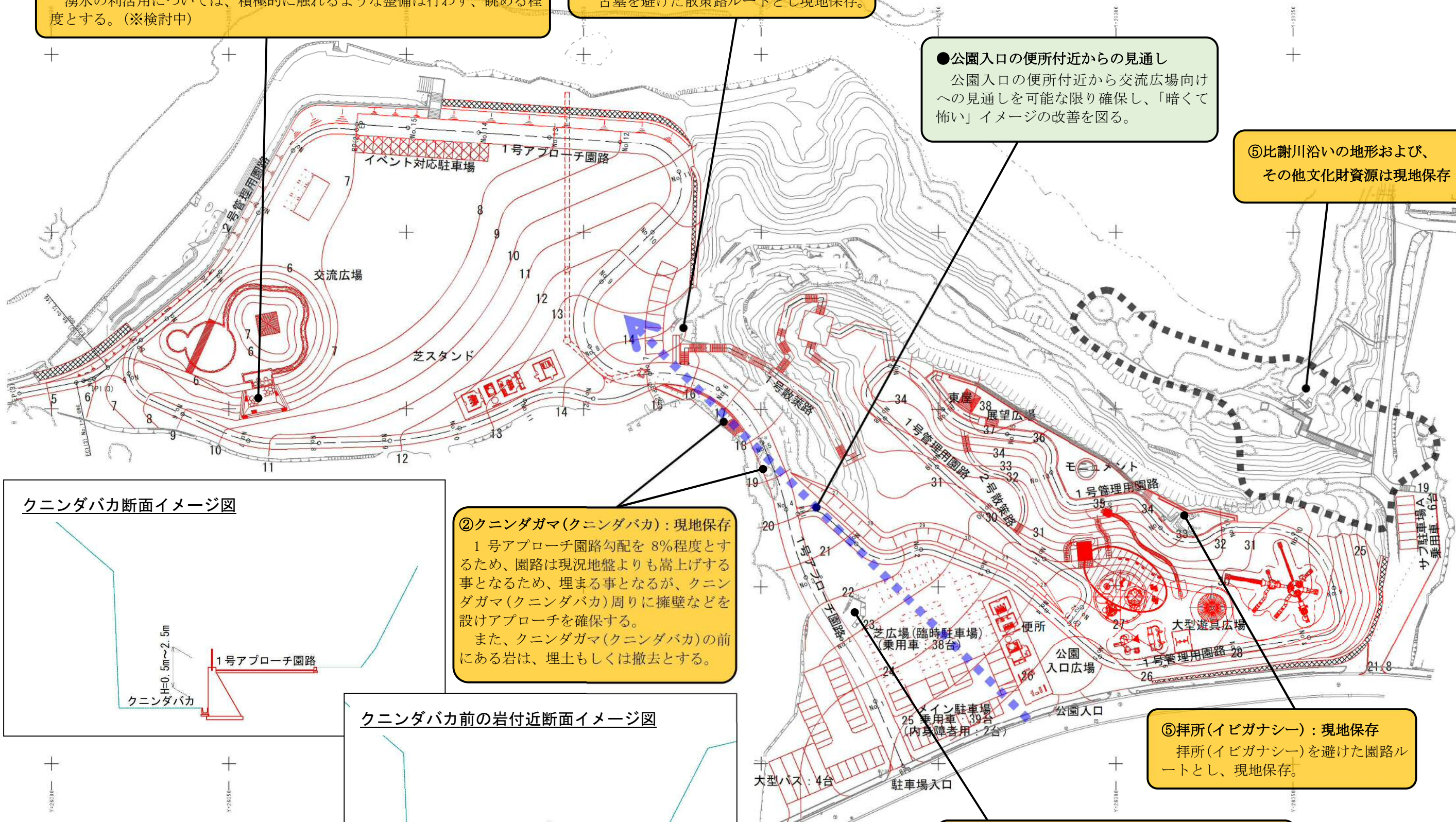
■文化財資源に配慮した配置図

④ヌールガー(嘉手納) : 現地保存とし、嵩上げする場合は字に確認を図る。
湧水の利活用については、積極的に触れるような整備は行わず、眺める程度とする。(※検附中)

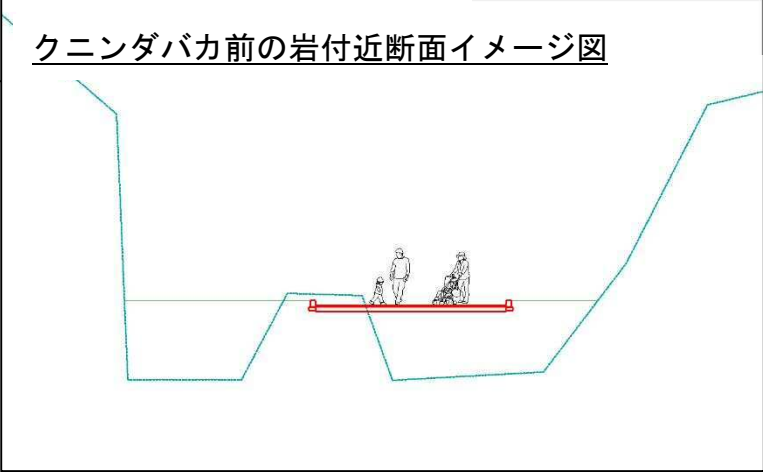
③古墓 : 可能な限り現地保存
古墓を避けた散策路ルートとし現地保存。

●公園入口の便所付近からの見通し
公園入口の便所付近から交流広場向けへの見通しを可能な限り確保し、「暗くて怖い」イメージの改善を図る。

⑤比謝川沿いの地形および、
その他文化財資源は現地保存



②クニダガマ(クニダバカ) : 現地保存
1号アプローチ園路勾配を8%程度とするため、園路は現況地盤よりも嵩上げする事となるため、埋まる事となるが、クニダガマ(クニダバカ)周りに擁壁などを設けアプローチを確保する。
また、クニダガマ(クニダバカ)の前にある岩は、埋土もしくは撤去とする。



⑤拝所(イビガナシー) : 現地保存
拝所(イビガナシー)を避けた園路ルートとし、現地保存。

①ナグバカー(ナグ墓) : 現地保存
1号アプローチ園路ルートを、ナグバカー(ナグ墓)を避けた園路ルートとし現地保存。

2. 要所について

1) ヌールガー

<計画概要>

水質調査より有機フッ素化合物(PFOS, PFOA 等)が検出されている事から、安全性に配慮し、積極的に湧水に触れるような整備は行わず、眺める程度の整備とした。

●造成計画

・現在のヌールガー水位高程度に合わせた計画とし、小規模な「せせらぎ」と「修景池」を設けた。

●修景

・「せせらぎ広場」を設ける事で、水辺における植物や昆虫の自然観察空間を創出する。

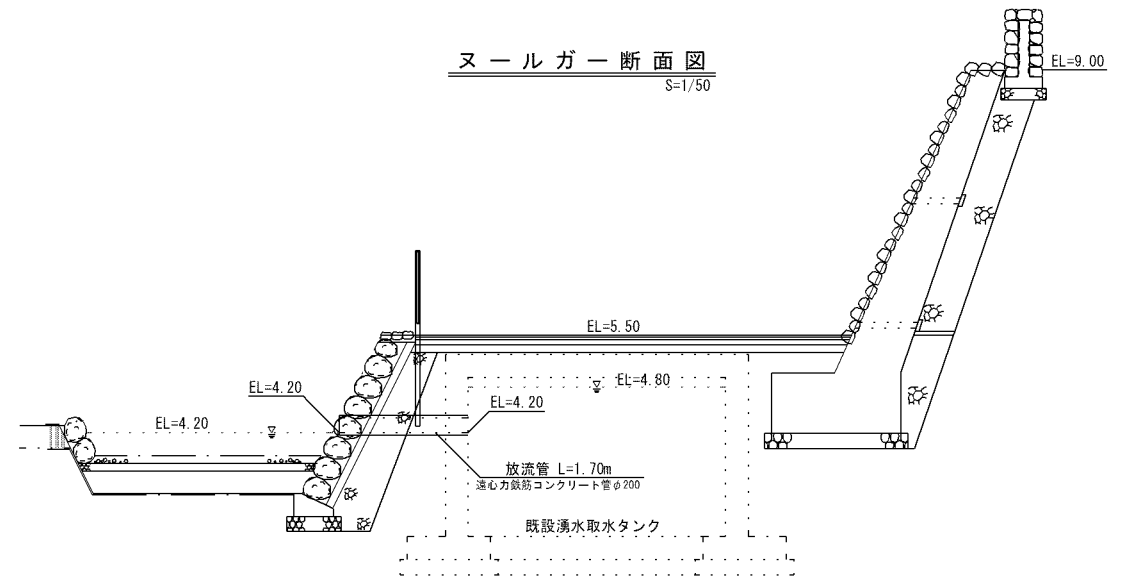
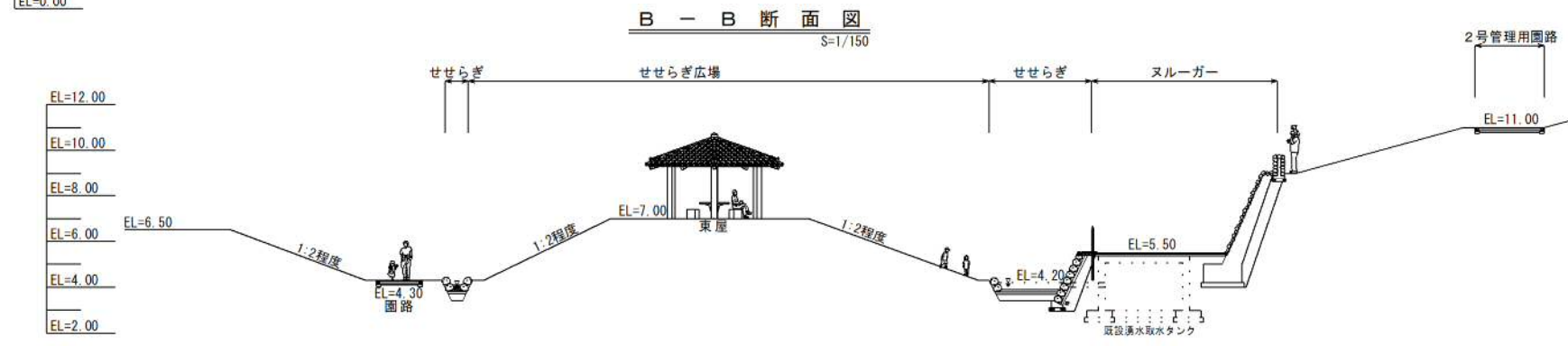
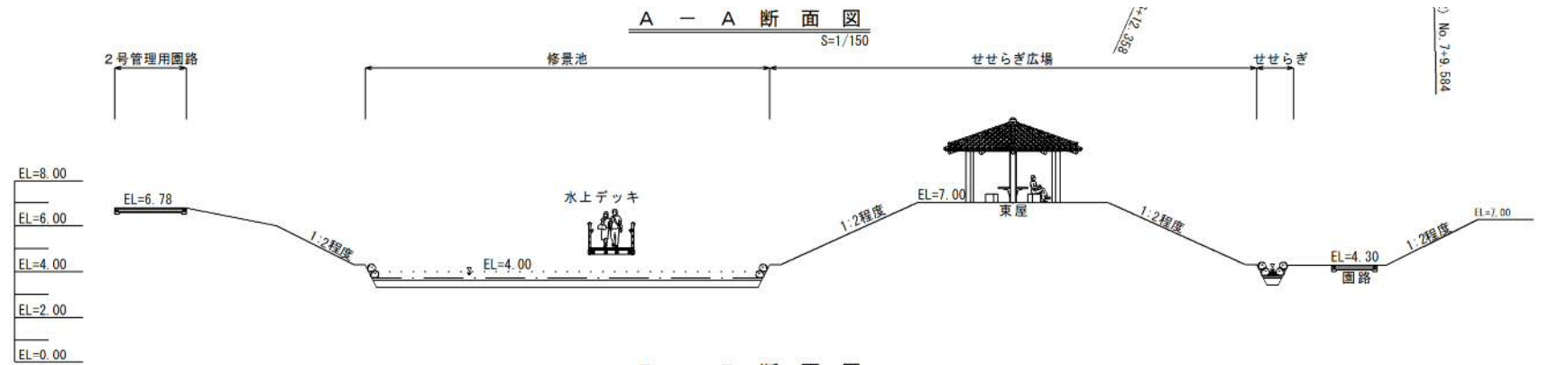
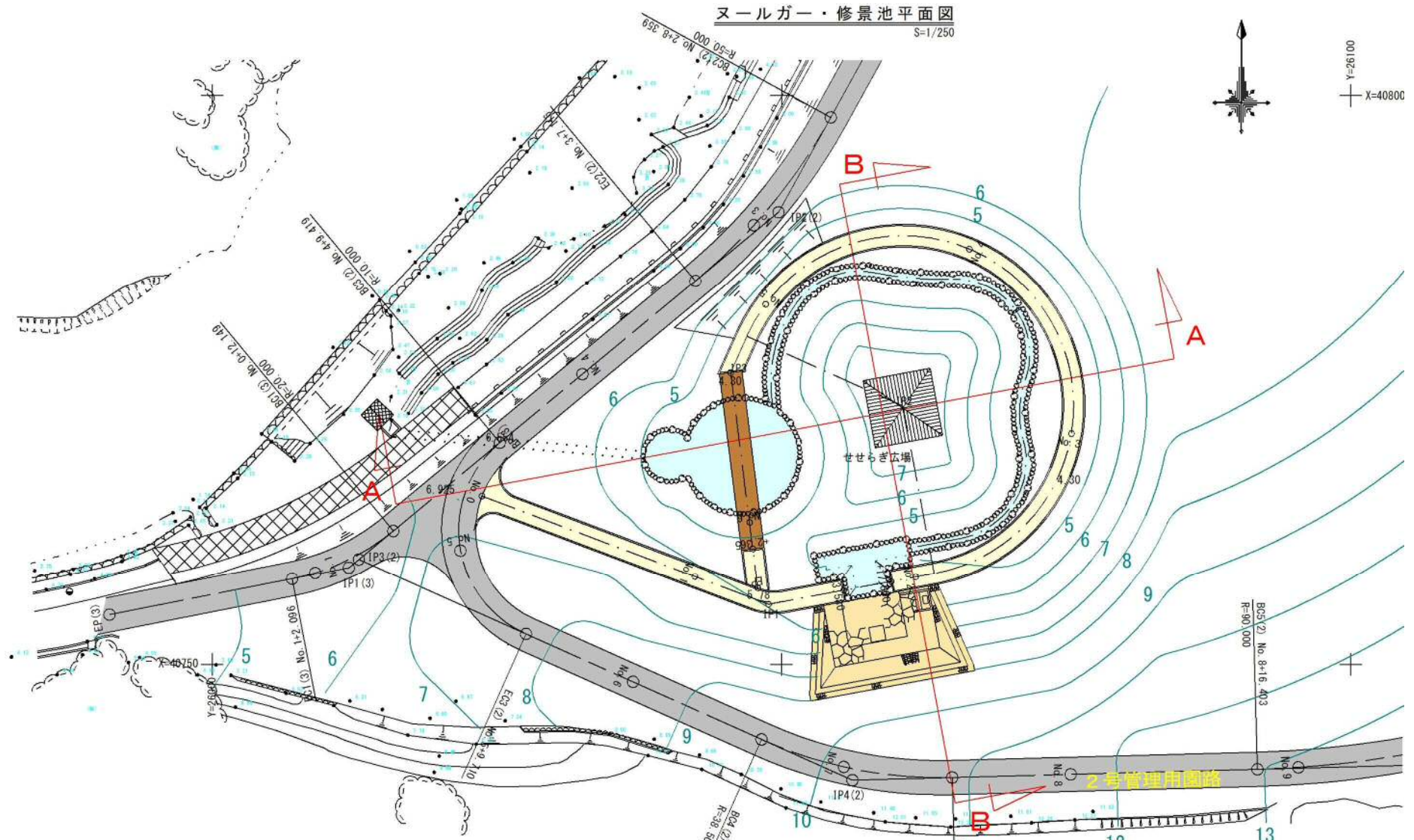
・「修景池」を水上デッキで散策でき、水景を眺める事で憩いの場を創出する。

●維持管理

・自然放流式なので設備関係を要しない為、維持管理は比較的容易である。

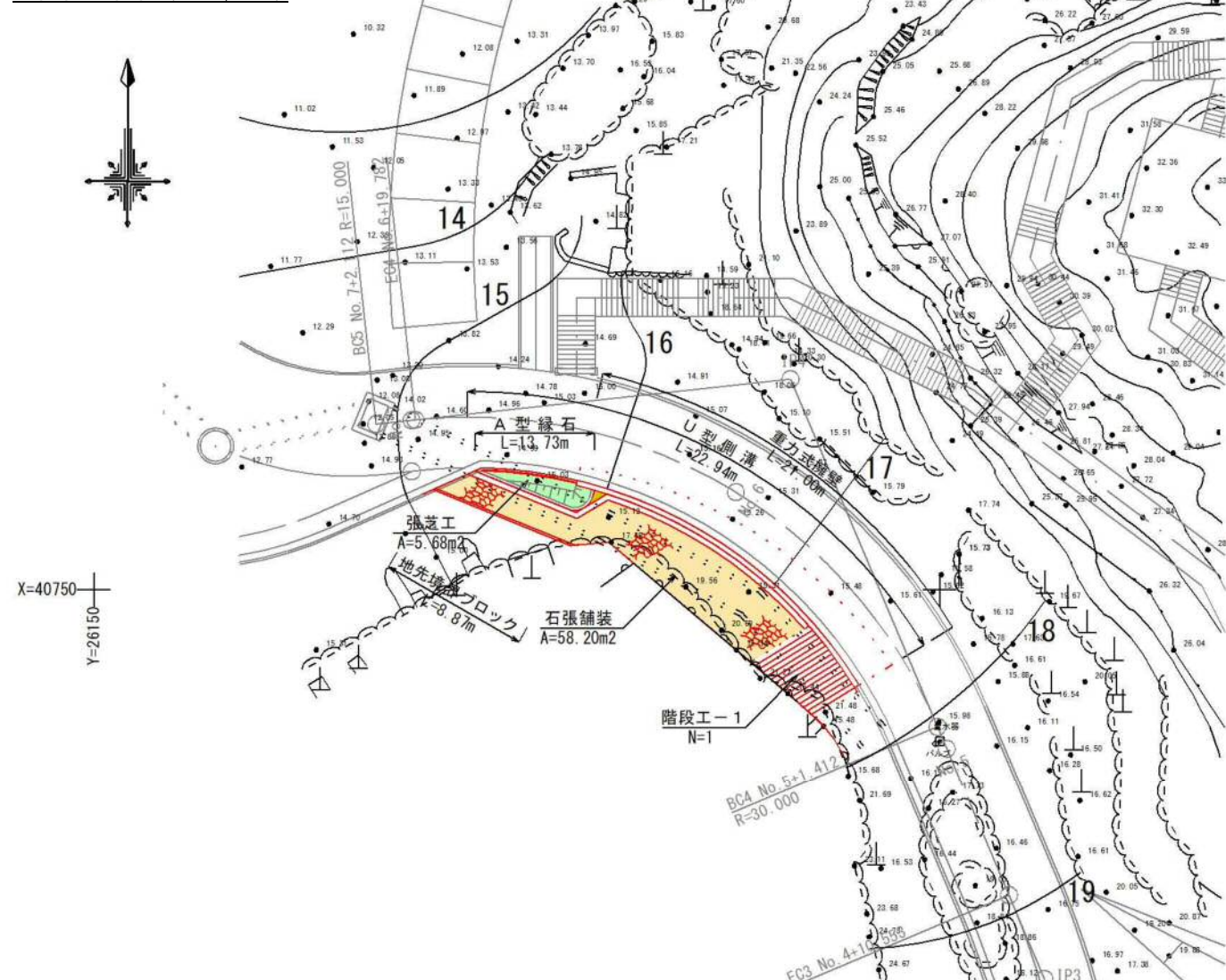
●施工性

・ヌールガー本体は、現状の地盤高程度となる為、施工性は比較的容易となる。

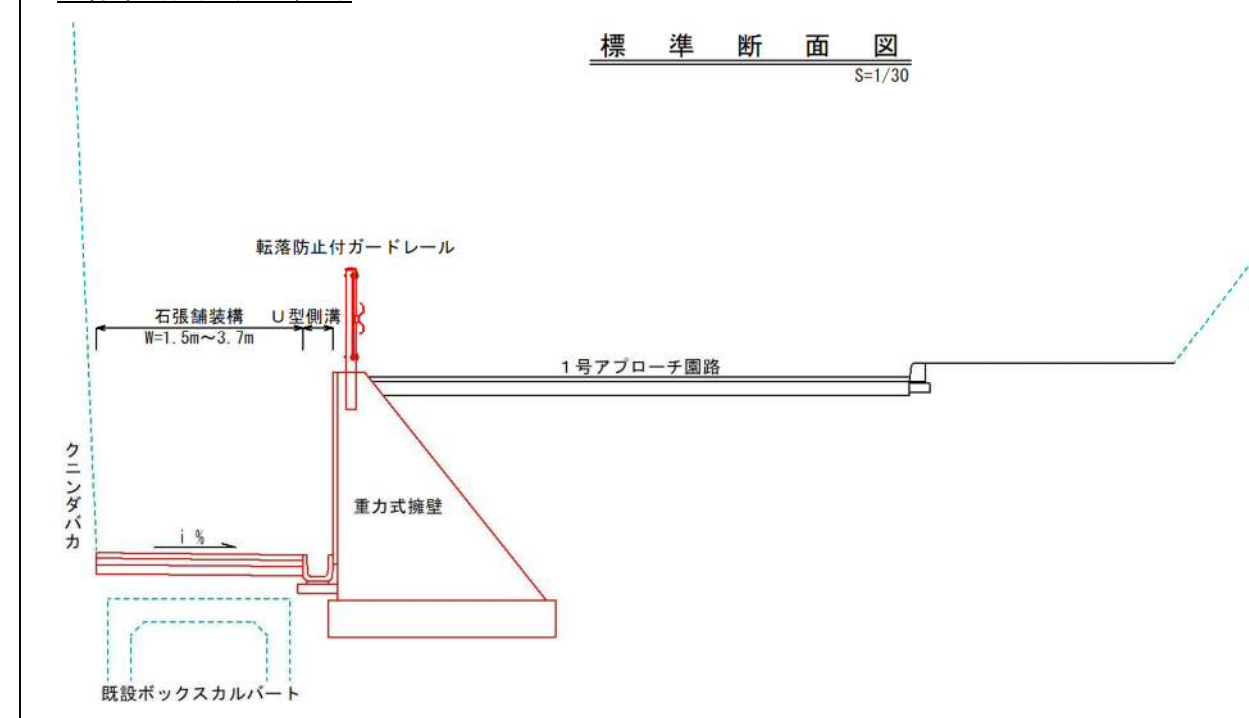


2) クニダガマ (クニダバカ)

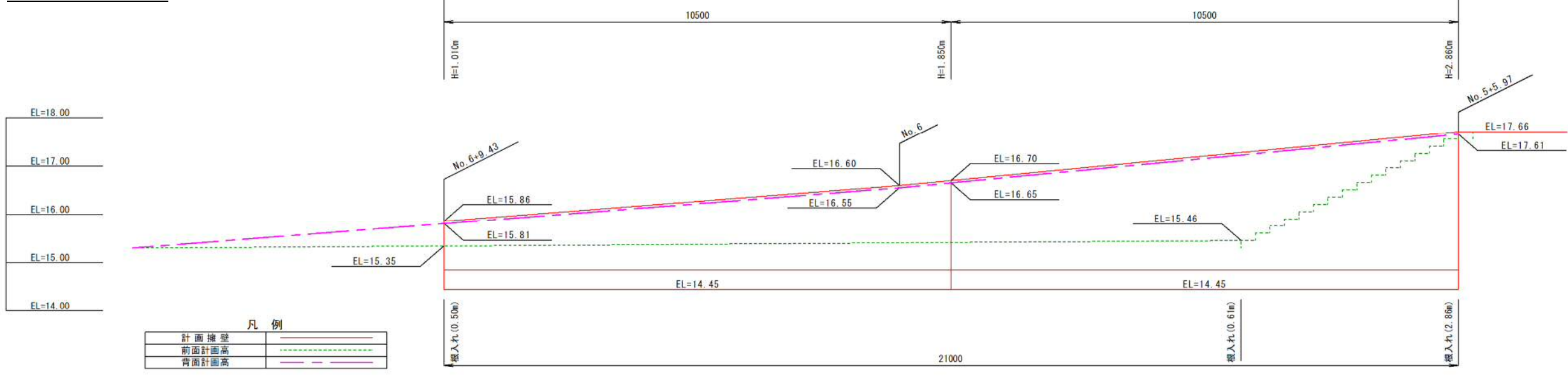
■計画平面図 (S=1/400)



■標準断面図 (S=1/50)

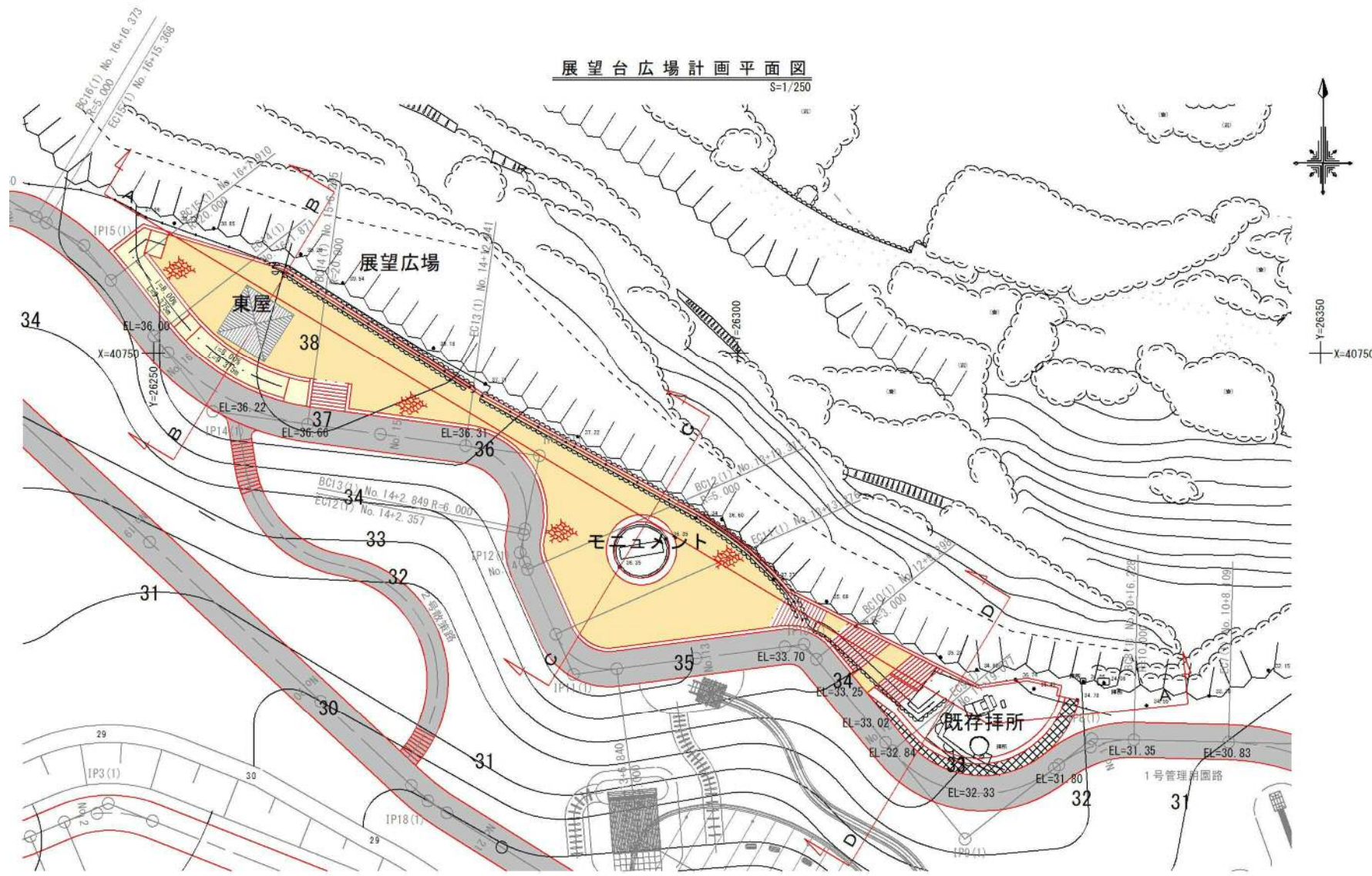


■縦断面図 (S=1/100)



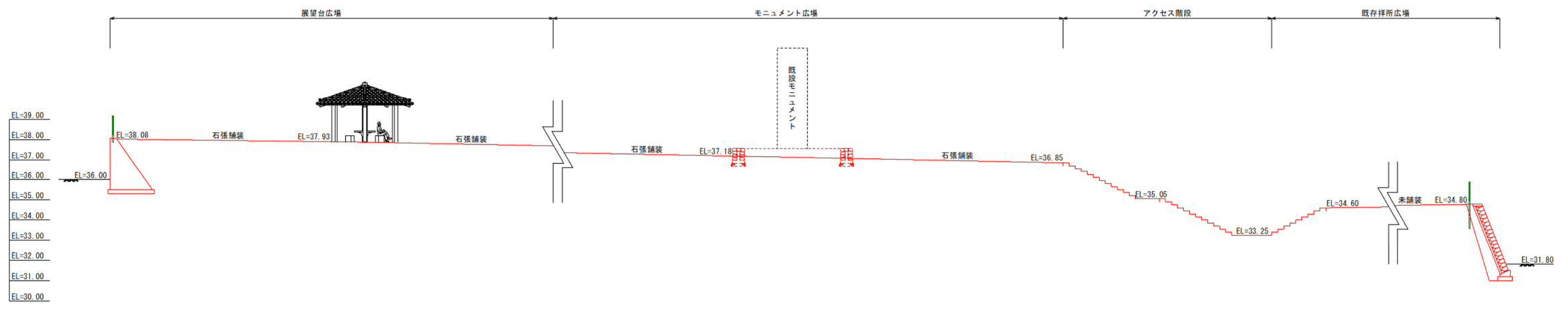
3) 展望広場付近

展望台広場付近計画図

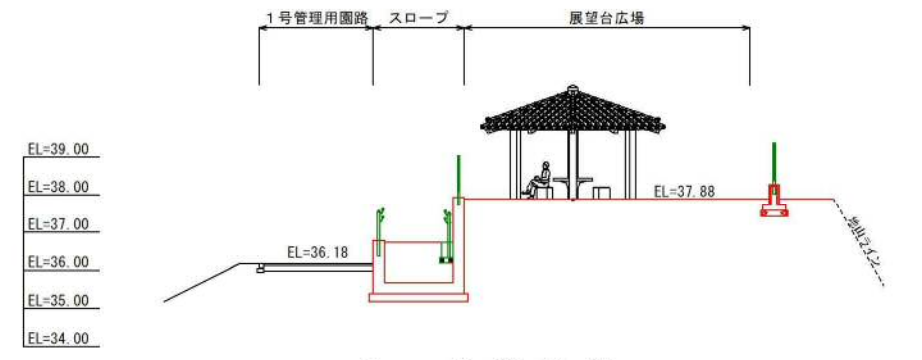


Y=26350
X=40750

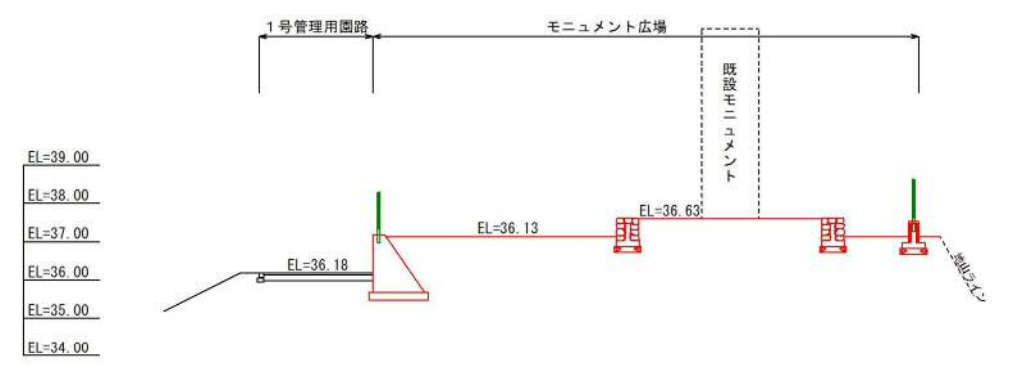
A - A 断面図 S=1/100



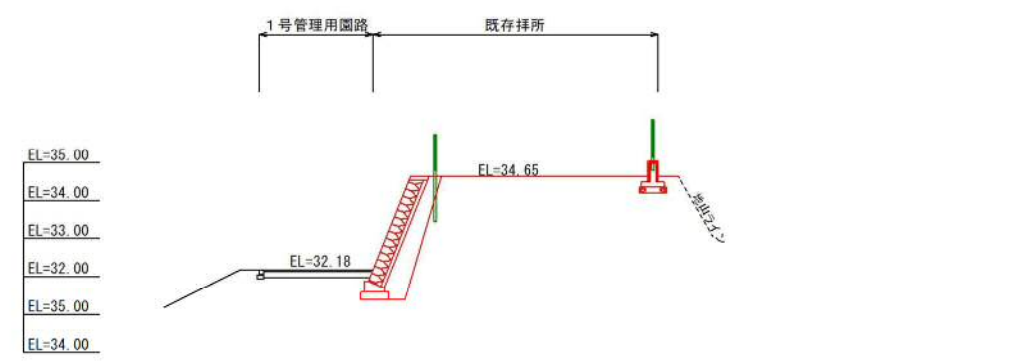
B - B 断面図 S=1/100



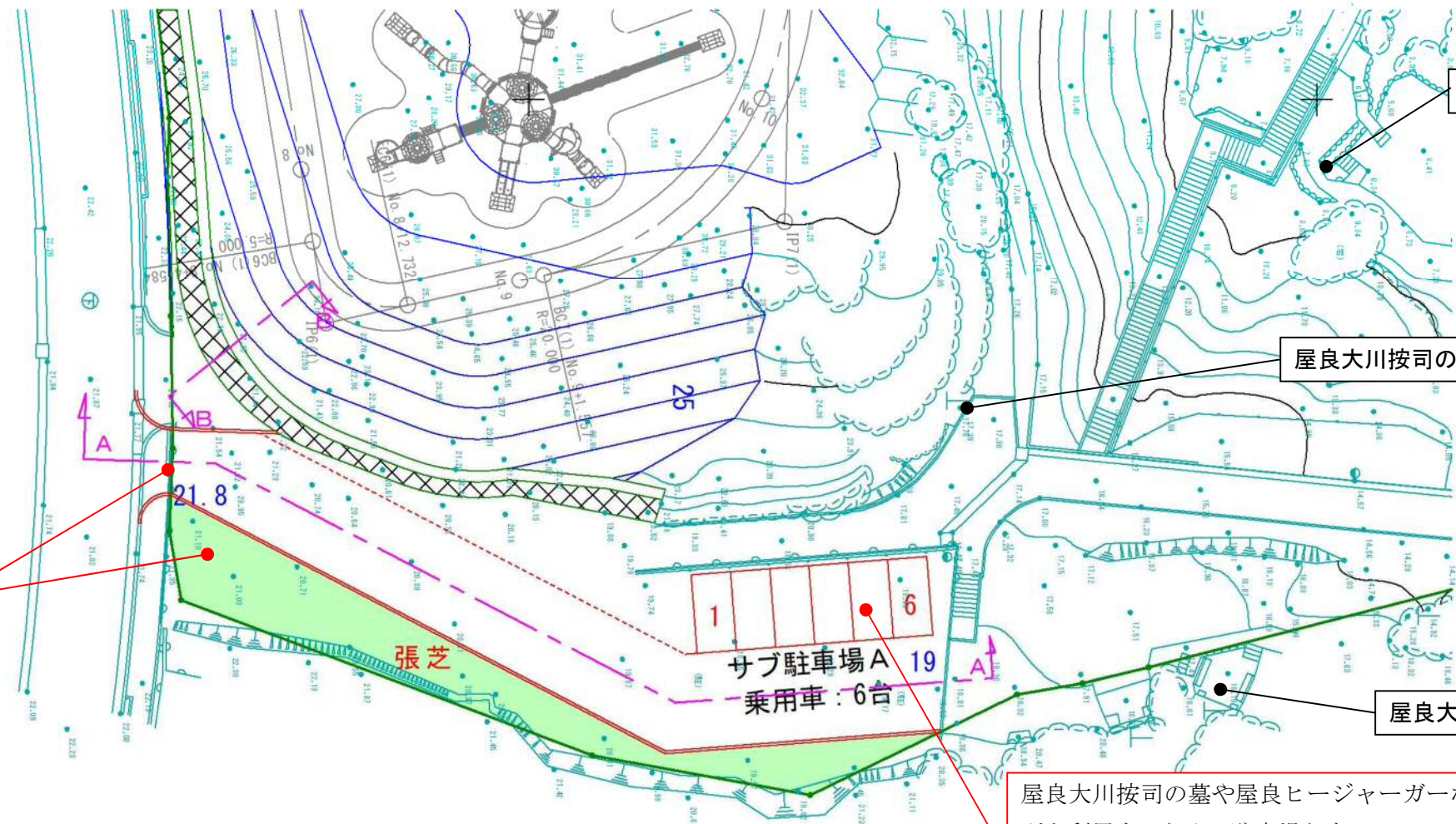
C - C 断面図 S=1/100



D - D 断面図 S=1/100



4) サブ駐車場 A (東側駐車場)



出入口を既設よりも東側に寄せる。
また、町道と同じ高さ程度まで盛土し、死角の少ない見通しの良い駐車場とする。

屋良ヒージャーガー

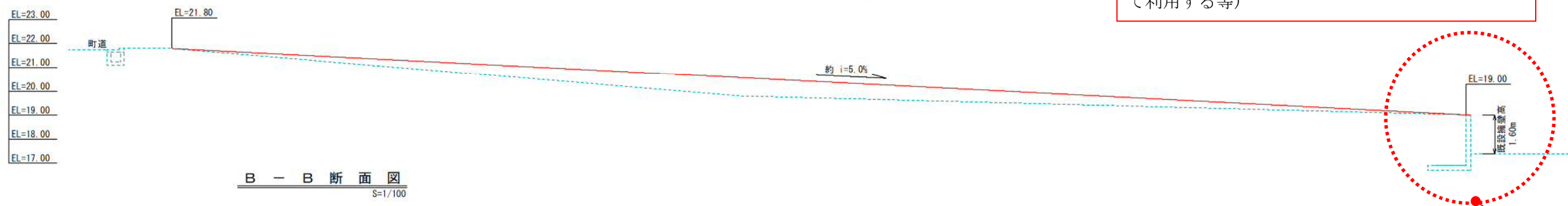
屋良大川按司の墓(御先大川)

屋良大川按司の墓(後大川)

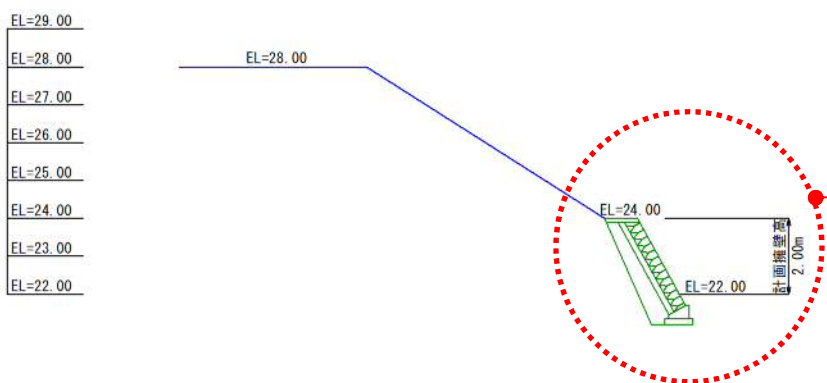
サブ駐車場 A 19
乗用車：6台

屋良大川按司の墓や屋良ヒージャーガーなどの拝所を利用するための駐車場とする。
(例えば、普段は施錠し、地元の年中行事に合わせて利用する等)

A - A 断面図
S=1/100



B - B 断面図
S=1/100



現況よりも前出しする事で、擁壁の見え高を小さくし、圧迫感を軽減する。

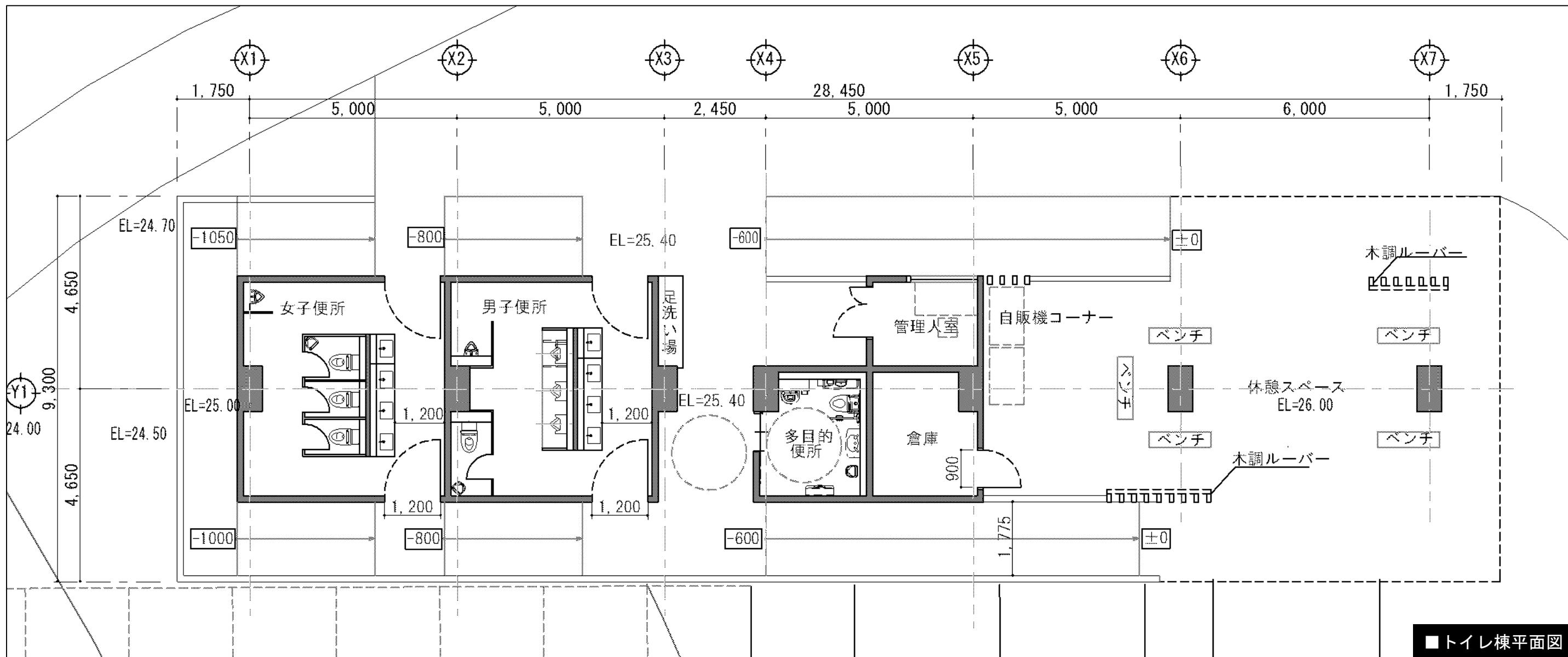
既設擁壁を活用する。

3. 建築施設(トイレ棟、管理棟、ミニステージ)の計画について

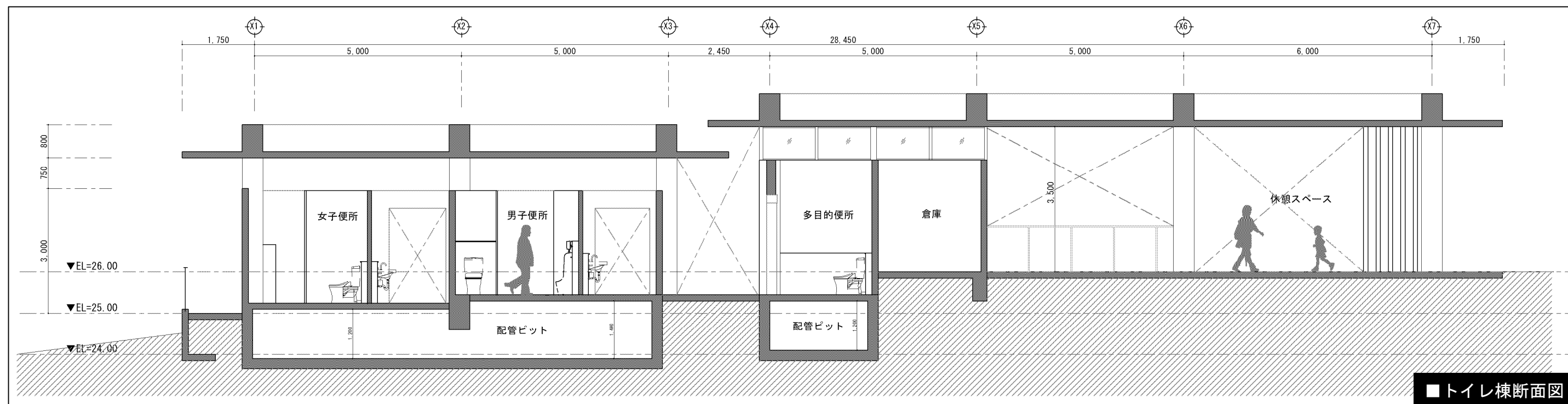
1) 建築施設の配置



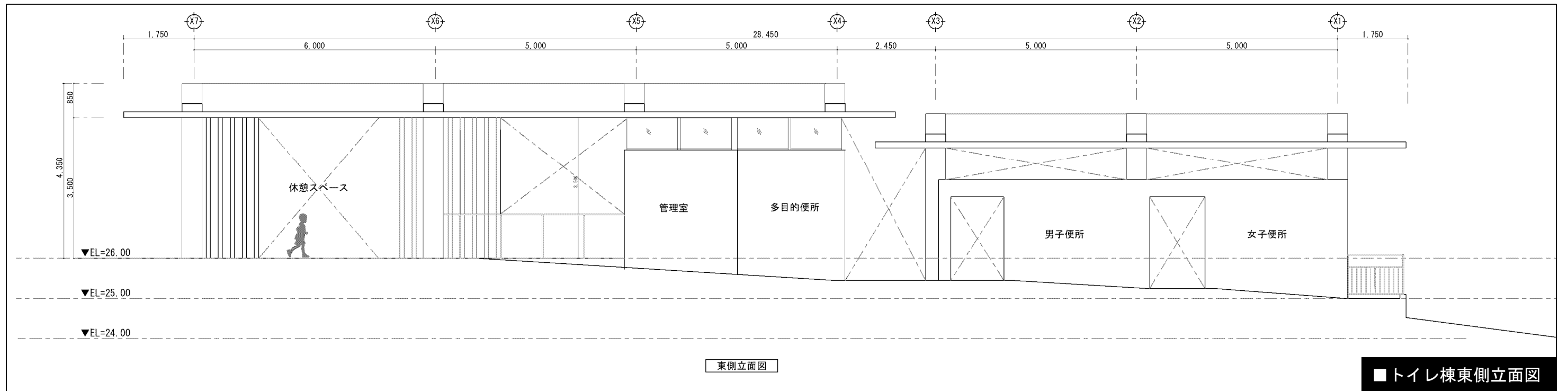
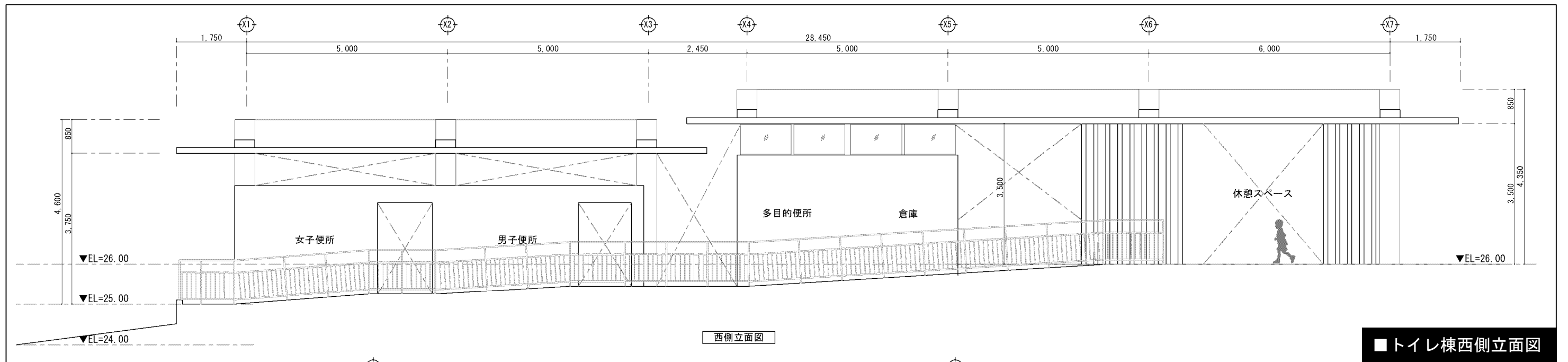
2) トイレ棟



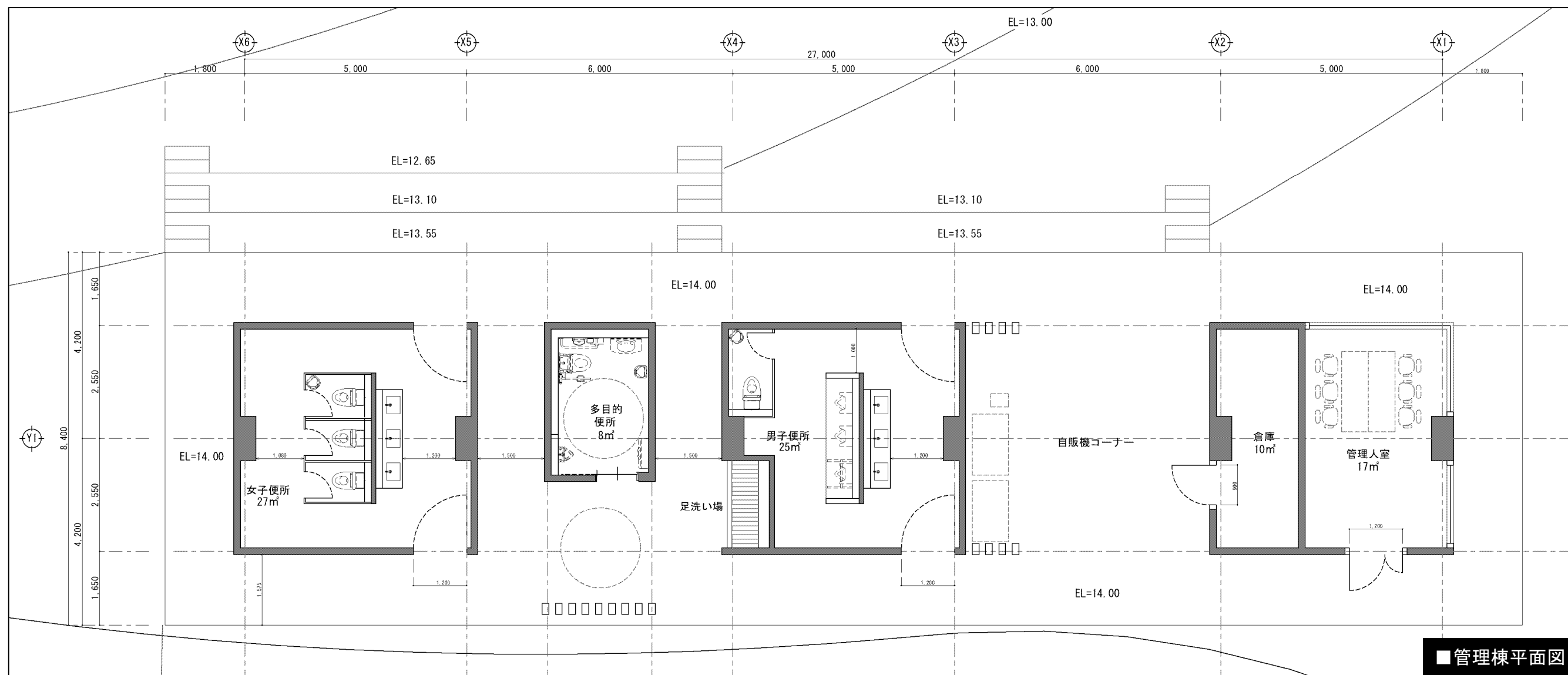
■トイレ棟平面図



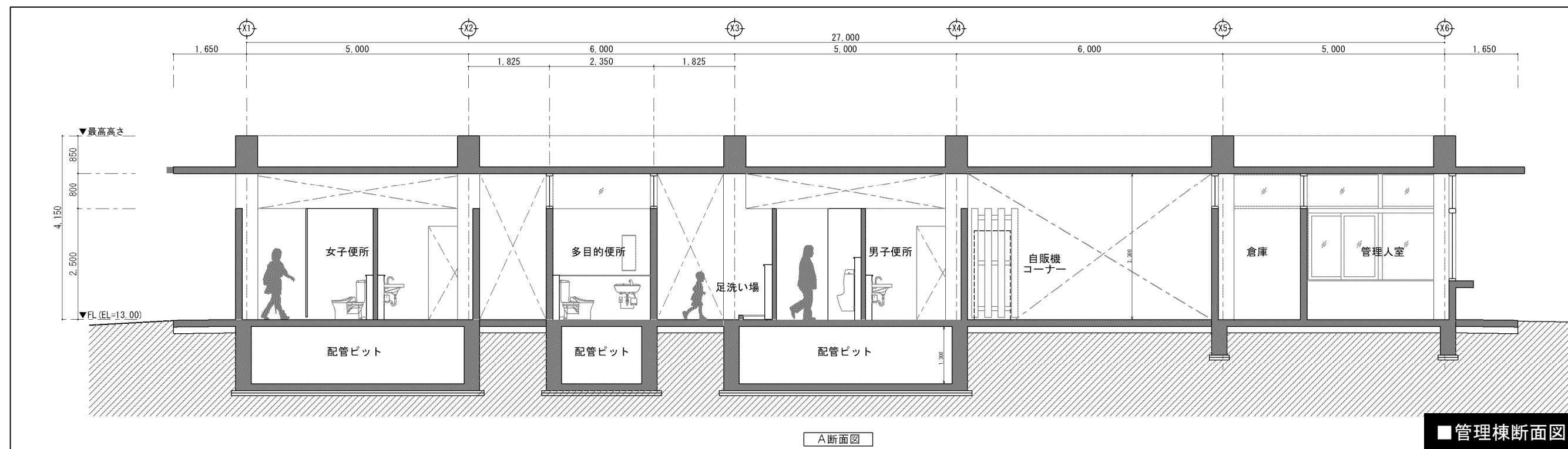
■トイレ棟断面図



3) 管理棟

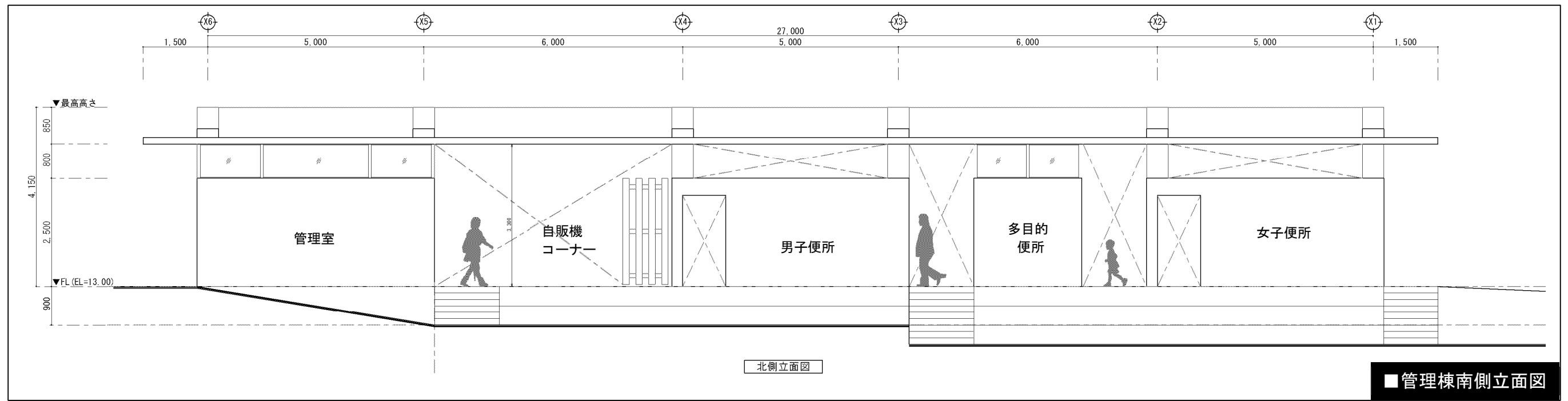
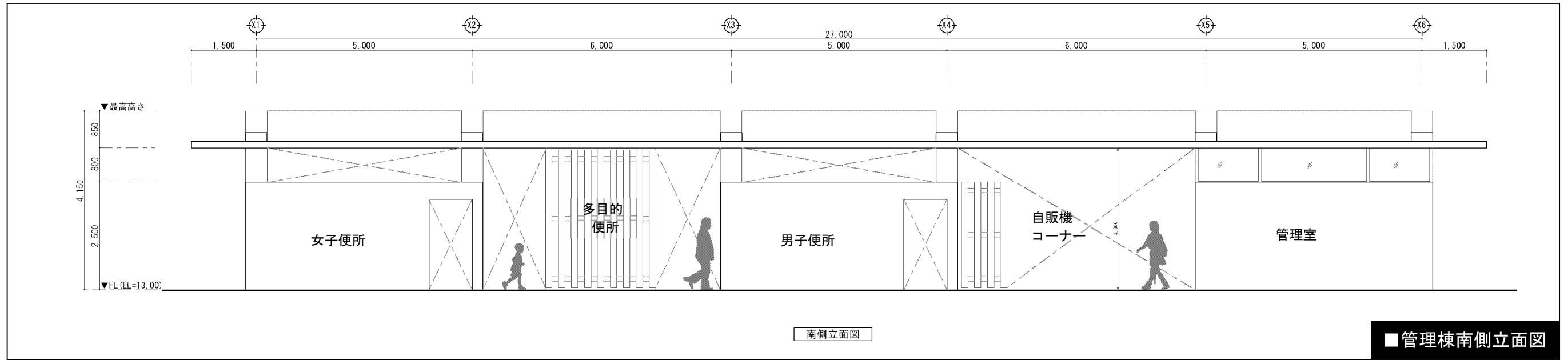


■管理棟平面図

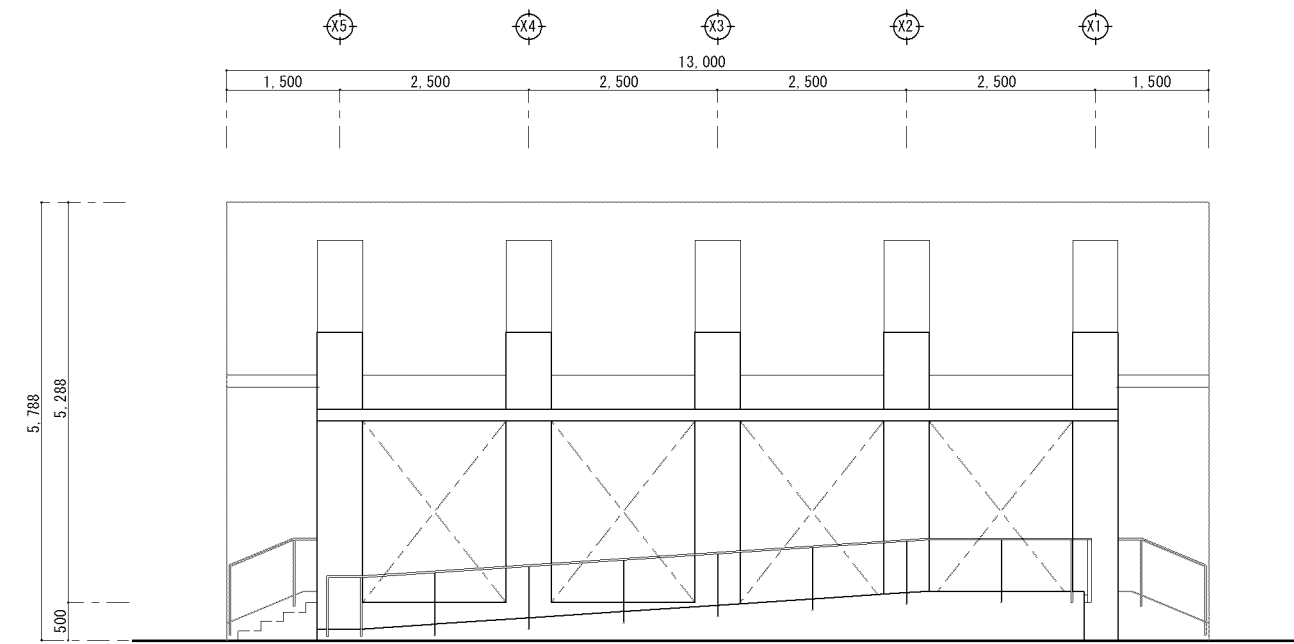
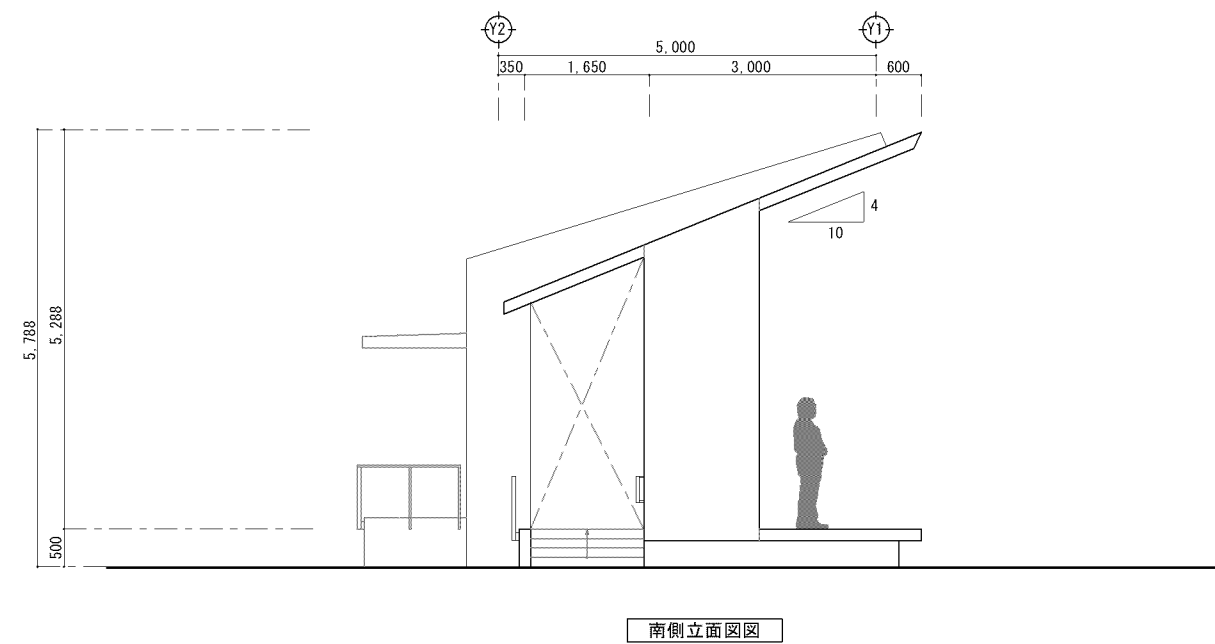
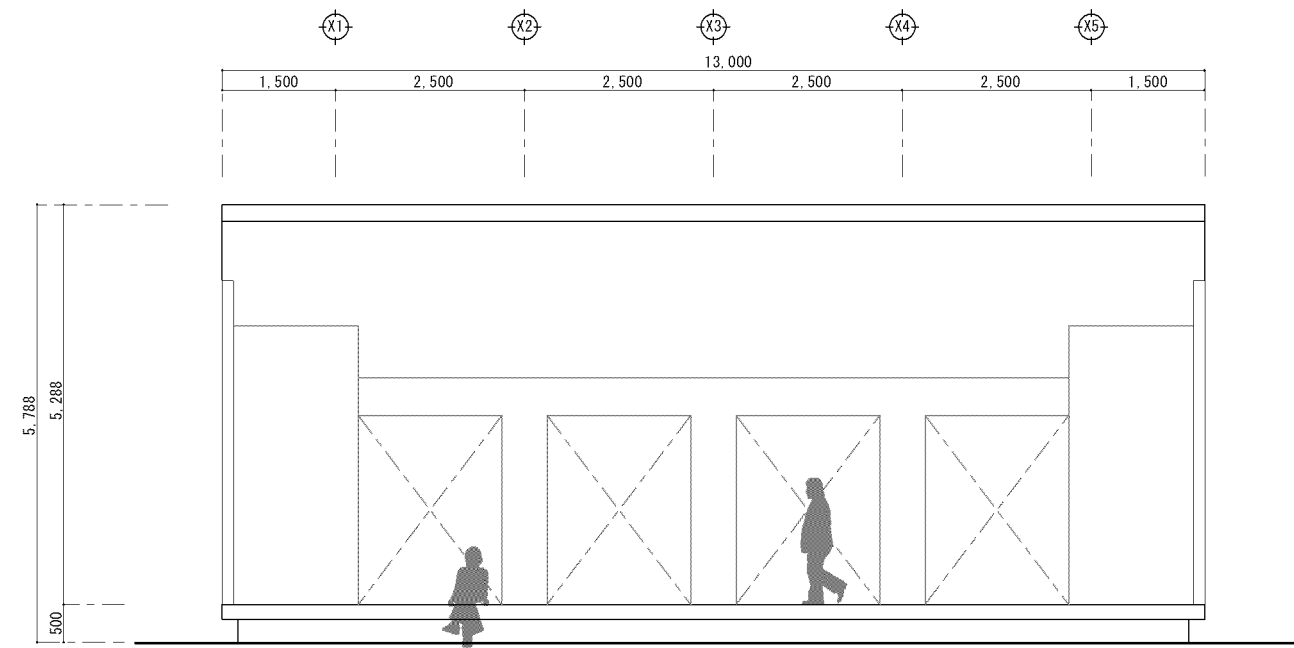
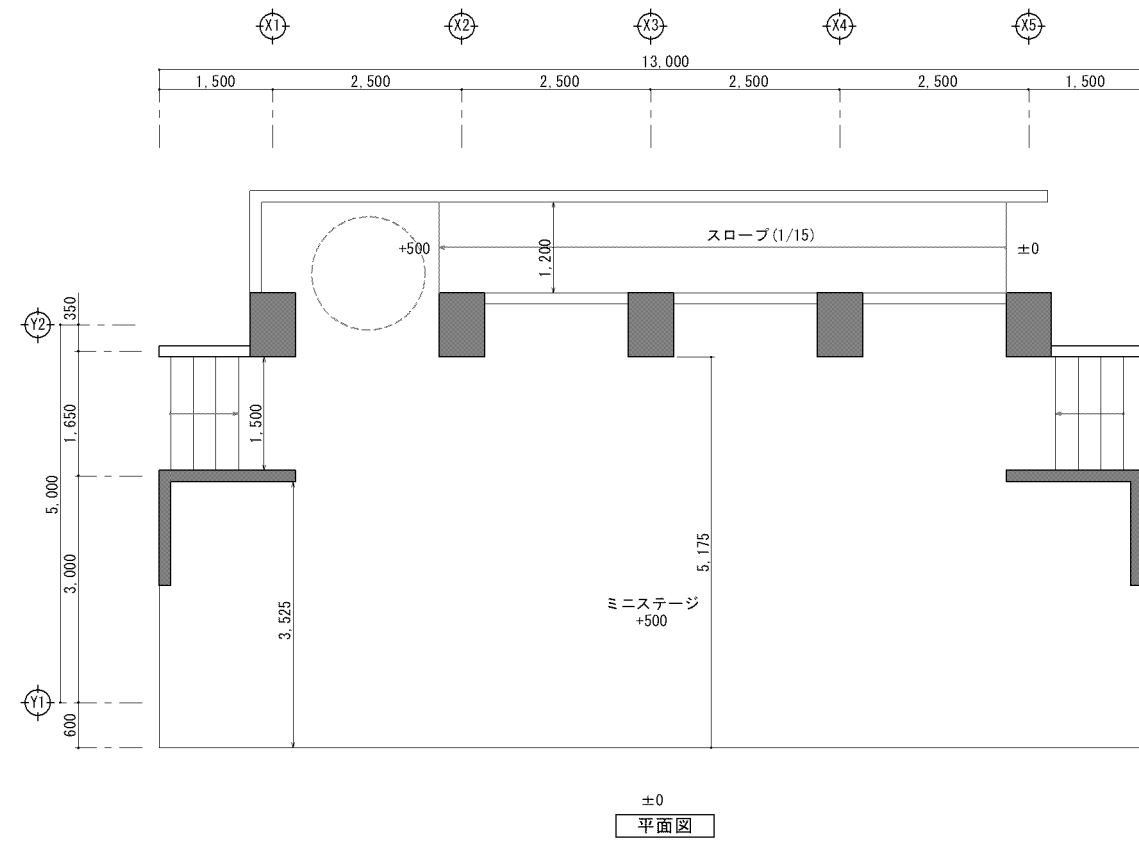


A断面図

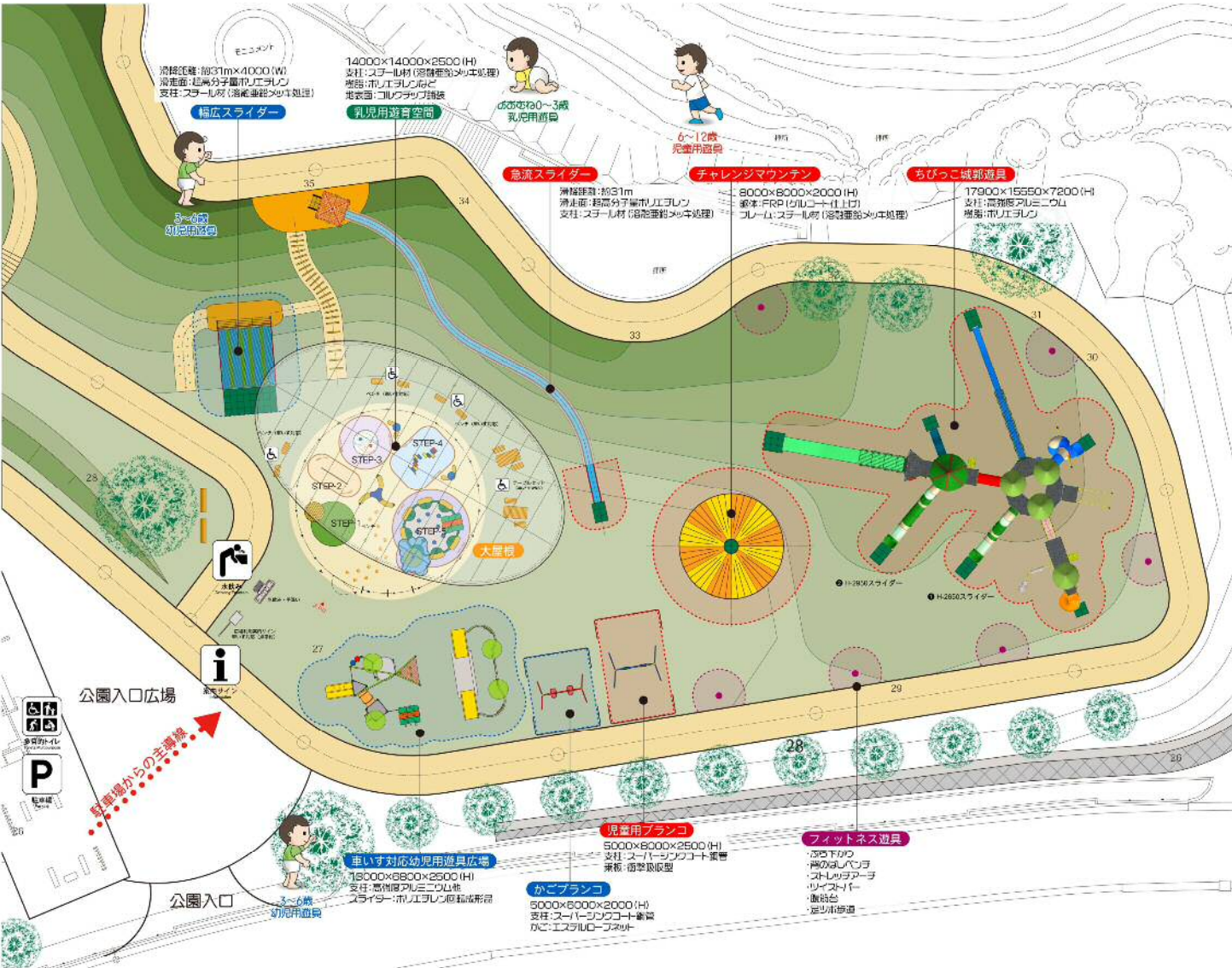
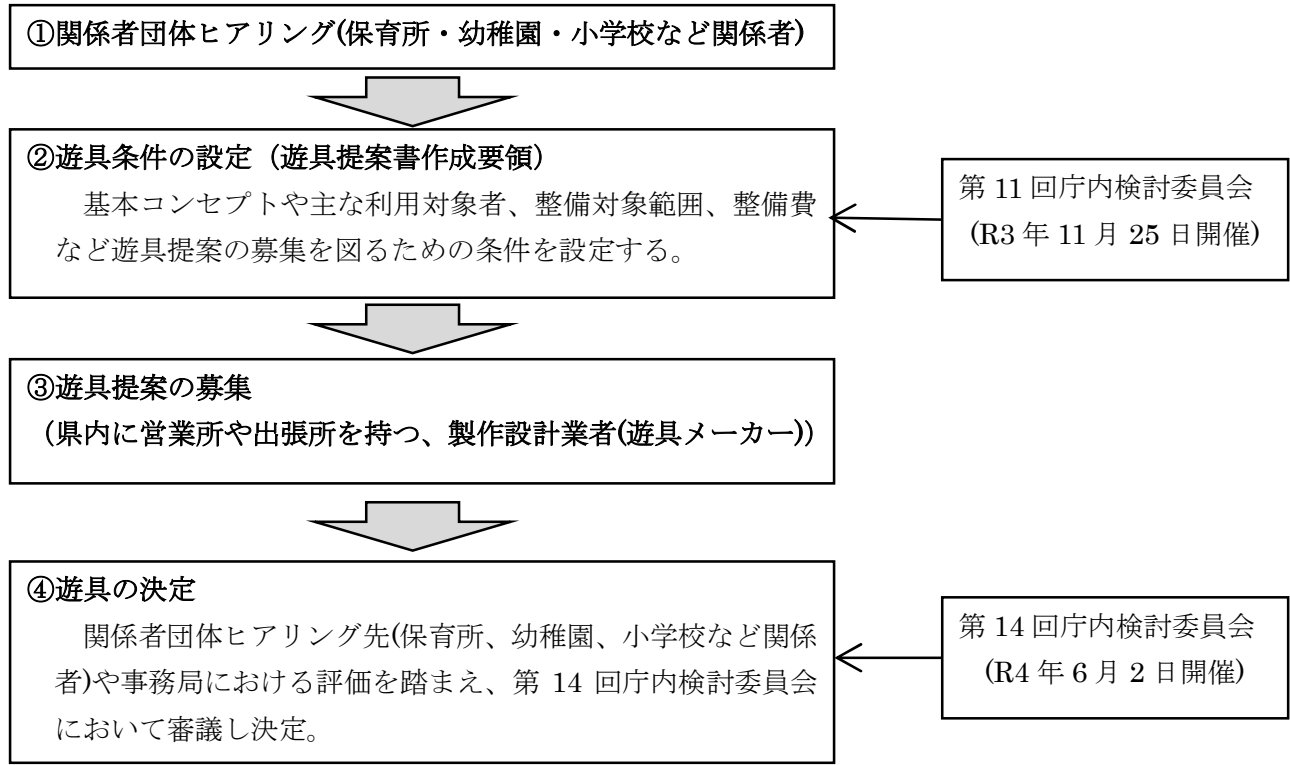
■管理棟断面図



4) ミニステージ



4. 遊具について



あおむね0~3歳 乳児用遊具

あおむね0~3歳までの遊育空間で、子どもの発達に応じた5つの段階で成長をサポートします。「三つ子の魂百まで」のごとく遊びの通り、人としての基本となる発達を育みます。この時期に人形形成の基本が出来上がるということは科学的に証明されており、パブリックスペースにおける史上最高の子育てを支援します。

子どもの「発達レベル」に応じた遊育アイテム

0~3歳未満利用の子どもが、その発達レベルに応じたアイテムをそろえました。

- STEP-1: ハートフルアームズ (心なごころ)
- STEP-2: ちびっこ城郭遊具
- STEP-3: チャレンジマウンテン
- STEP-4: 幅広いスライダー
- STEP-5: 急流スライダー

おかささん達の声から生まれたハートフルアイテム
遊具対象、おもちゃコーナー、子どもへの目撃せむに優れたオリジナル設計です。

すくすくランド Inclusive
環境共生型公園 遊具

「すくすくランド」は、いままで公園で遊べなかった3歳未満児とその保護者が、「ここは私達が遊んでいいんだ!」と思える場所のため、「すくすくランド」の存在自体がインクルーシブな公園に近づけます。

3~6歳 幼児用遊具

幼児用遊具は、車いすに対応した3~6歳用の複合遊具で、健常者と車いす利用者が一緒に遊べる空間を提供します。施設には身体の運動だけでなく、音や感覚などの知育を育むアイテムも盛り込みました。

●車いす対応幼児用遊具

幅広いスライダーは、ユニバーサル機能も盛り込んであり、より幅広い利用者に対応します。自分自身で身体を支えることができないお友達も、誰かが身体を支えながら一緒に遊ぶことができる様に配慮しました。「幅広いスライダー」の「幅広い」は物理的な幅の広さだけでなく、幅広い利用者への対応を意味します。

●幅広いスライダー

ブランコは、自分で身体を支えることができない子ども安心して楽しめる様、ハンモック型のかごブランコを採用しました。もちろん、健常者の方にも楽しんで頂けます。

●かごブランコ

6~12歳 児童用遊具

お城の城郭をイメージした6~12歳用の複合遊具で、立体的な構成が子どもたちの創造力を高め、自発的な遊びへと発展します。

●ちびっこ城郭遊具

●急流スライダー

急流スライダーは、滑走面に超高分子重質ポリエチレンを使用したスピード感のあるスライダーです。高低差約9mの斜面を一気に滑り降ります!

●チャレンジマウンテン

チャレンジマウンテンは、360度、全方向で利用できる山型遊具です。個人の能力に合わせて、登ったり、転がったり、滑ったり、自由な使い方を創造できる遊具です。個人の能力に合った様々な遊び方、楽しみ方を自らが発見できる「自立する」遊具です。

大人用

フィットネス遊具は、ストレッチを中心としたアイテムを選定しました。無理せず気軽に利用頂くことができます。

●ぶら下がり
傾斜に足を懸けてぶら下がることで、股関節をストレッチ効果があります。

●背のばしベンチ
背のばしベンチは、背のばしベンチの上部を握り、お尻・背中をストレッチ効果が得られます。

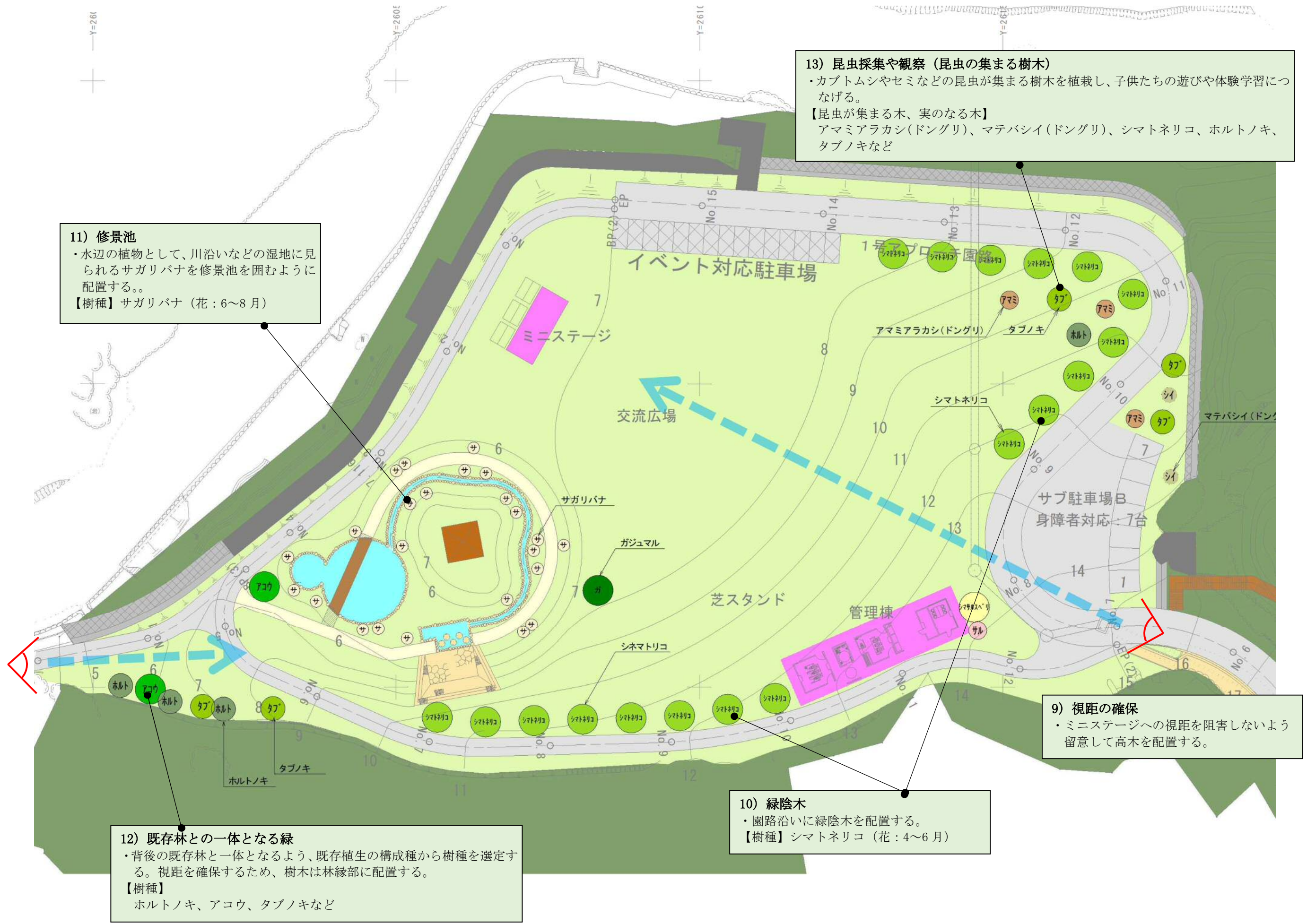
●ツイスター
回転遊具で全身を伸ばすことにより、ストレッチ効果が得られます。

5. 植栽について

■植栽計画 (案) 1/2



■ 植栽計画 (案) 2/2



11) 修景池
・水辺の植物として、川沿いなどの湿地に見られるサガリバナを修景池を囲むように配置する。
【樹種】サガリバナ (花: 6~8月)

13) 昆虫採集や観察 (昆虫の集まる樹木)
・カブトムシやセミなどの昆虫が集まる樹木を植栽し、子供たちの遊びや体験学習につなげる。
【昆虫が集まる木、実のなる木】
アマミアラカシ(ドングリ)、マテバシイ(ドングリ)、シマトネリコ、ホルトノキ、タブノキなど

12) 既存林との一体となる緑
・背後の既存林と一体となるよう、既存植生の構成種から樹種を選定する。視距を確保するため、樹木は林縁部に配置する。
【樹種】
ホルトノキ、アコウ、タブノキなど

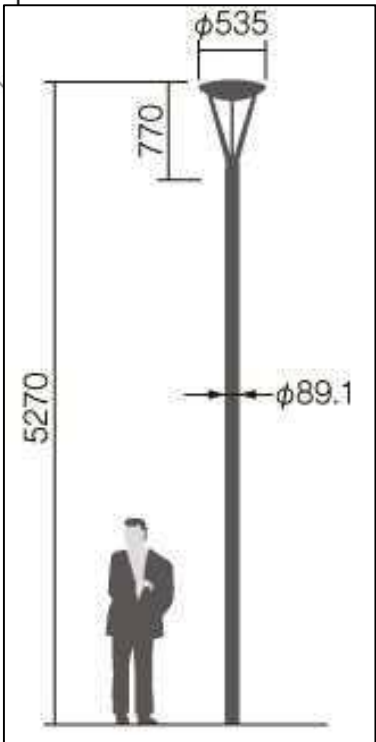
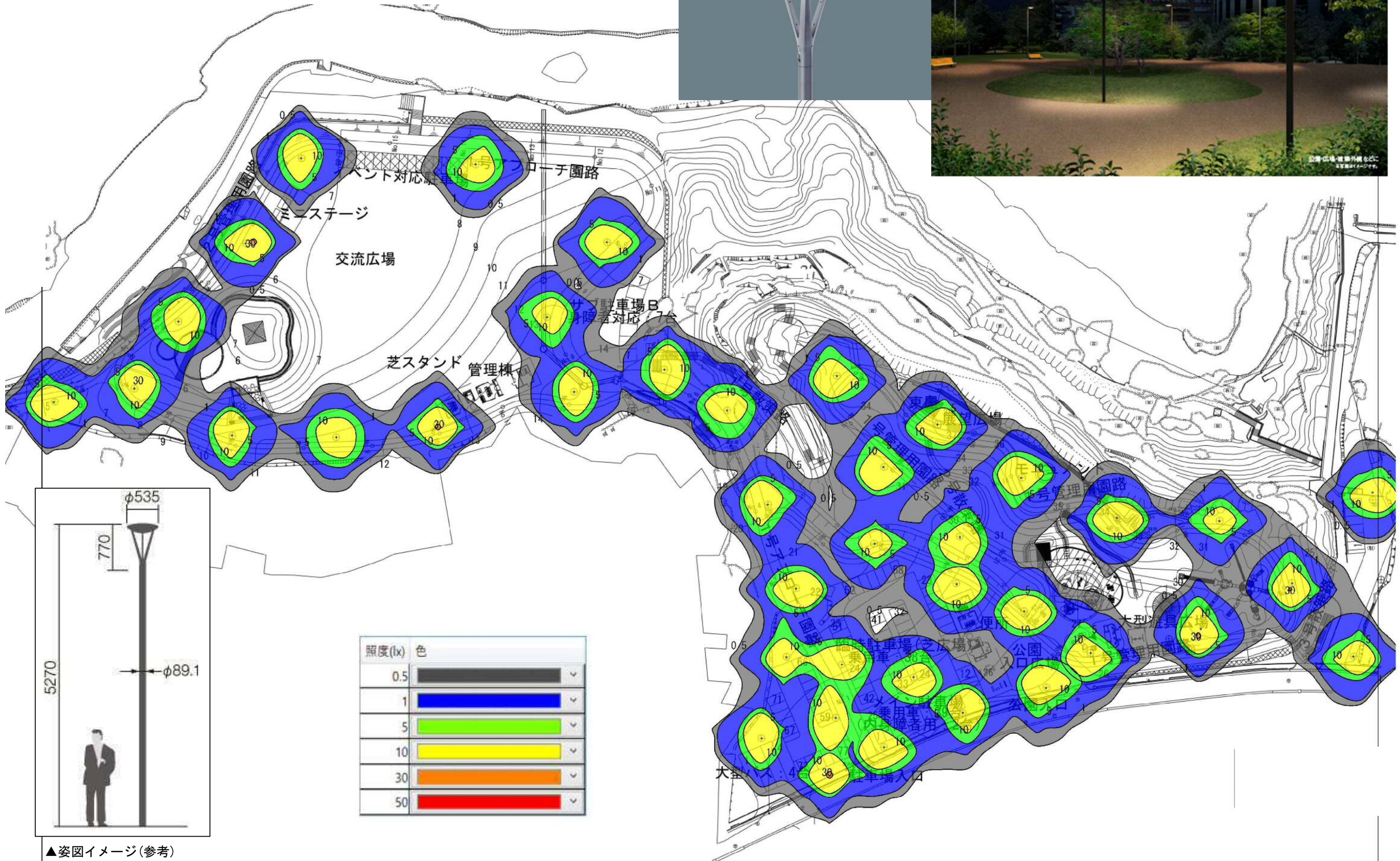
10) 緑陰木
・園路沿いに緑陰木を配置する。
【樹種】シマトネリコ (花: 4~6月)

9) 視距の確保
・ミニステージへの視距を阻害しないよう留意して高木を配置する。

6. 照明灯について



<参考>夜間イメージ



照度(lx)	色
0.5	黒
1	青
5	緑
10	黄
30	橙
50	赤

▲姿図イメージ(参考)

■ 配置計画図



■公園全体イメージ



※あくまでもイメージです。実際とは異なる部分も出てきます。

■交流広場イメージ



※あくまでもイメージです。実際とは異なる部分も出てきます。

8. 工事スケジュール(案)について

■屋良城跡公園の事業スケジュール(案)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度		令和14年度		令和15年度		令和16年度																																															
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2																								
①文化財調査(事前調査)	[Blue shaded area from R4 to R6]																								← 試掘調査報告書作成期間 →																																															
①文化財調査(本調査)																									← ※試掘調査で埋蔵文化財が確認された場所を開発する場合に実施。 →																																															
②墳墓移転補償																									[Yellow shaded area from R5 to R6]																																															
③工事																									[Green shaded area from R7 to R14]																																															
撤去工事																									[Green shaded area from R7 to R8]																																															
新設工事																									[Green shaded area from R7 to R14]																																															
公園利用の規制期間																									← 全面利用規制 →																								← 一部利用規制 →																							

【令和10年度までに完成予定】
 トイレ棟、遊具、メイン駐車場(一部)、
 芝広場(臨時駐車場)、展望広場など

【令和14年度までに完成予定】
 管理棟、ミニステージ、交流広場、ヌール
 ルガー(修景池)など

屋良城跡公園整備工事実施設計報告書（概要版）

発行：嘉手納町

住所：〒904-0293 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 588 番地

電話：098-956-1111（代）